

# コミュニケーション英語Ⅱ

## New Discovery English Communication II

### 学習指導計画案

#### 1. 到達目標

- 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。具体的な活動は以下のとおり。
1. 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりできる。
  2. 説明文，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方ができる。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行える。
  3. 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や自分の考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめることができる。
  4. 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や自分の考えなどについて，まとまりのある文章を書くことができる。

#### 2. 学習計画および評価方法

##### (1) 年間学習計画等

学期	月	学習内容とねらい <small>(配当時数) 計 117 時間</small> <small>(注) 言語材料のうち，*はⅠ巻での学習事項を表す。</small>	備考 <small>(学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)</small>	考查範囲
第1学期	4月	<b>Lesson 1 Hot Springs and Baths in the World</b> (8) <small>&lt;題材&gt; 日本と海外との入浴文化の違いを通じて，日本の文化や郷土のよさを見直し，文化の違いについての理解を深める。</small> <small>&lt;言語材料&gt; (文法) *過去完了 / S+V+O<sub>1</sub>+O<sub>2</sub> (=that 節/疑問詞節) / S+V+O (=if [whether] 節)</small> <small>(語句) unique to ~ / date back to ~ / discourage ~ from doing</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お風呂」と「シャワー」のどちらが好きか，お互いに話し合い，発表する活動に取り組む。</li> <li>・「湯水のように使う」という表現を英語に直し，海外における水の重要性について考察する。</li> </ul>	第1学期中間考查
		<b>Lesson 2 Simple Spelling Systems?</b> (8) <small>&lt;題材&gt; 英語のつづりと発音の関係がなぜ現在のように複雑になっているかを知り，言語に対する興味と知識を深める。</small> <small>&lt;言語材料&gt; (文法) *現在完了の受け身 / 部分否定 / *仮定法過去</small> <small>(語句) struggle with ~ / I have no idea. / No kidding! / have ~ in mind / be comparable to ~</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリア英語の発音やイギリス英語との発音の違いを簡単に紹介する。</li> </ul>	
	5月	<b>Action! 1 空港での会話</b> (1) <small>&lt;機能・表現&gt; 相づちを打つ / 感謝する / 説明する / 依頼する</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港での入国審査の場面を設定し，入国審査官と入国者のロールプレイを行う。</li> </ul>	
		<b>説明文の構成</b> (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーディングスキルを身につけるだけでなく，ライティングにも活用できるようにする。</li> </ul>	
6月	6月	<b>Lesson 3 Living Dinosaurs?</b> (8) <small>&lt;題材&gt; 恐竜生存説に関する高校生の発表を通じて，恐竜存在の可能性を考えるとともに，効果的なプレゼンテーションのしかたを学ぶ。</small> <small>&lt;言語材料&gt; (文法) 前置詞+関係代名詞 / *関係副詞 where, when / 関係副詞 why, how</small> <small>(語句) believe in ~ / do harm to ~ / agree with ~</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを使って未確認生物を調べ，クラスで発表する。</li> </ul>	第1学期期末考查
		<b>Lesson 4 African-American First Lady</b> (10) <small>&lt;題材&gt; 前アメリカ大統領夫人ミシェル・オバマの半生を読み，人種差別を克服した経緯や彼女の行動を支えた考え方を知る。</small> <small>&lt;言語材料&gt; (文法) *S+V (=知覚動詞) +O+C (=分詞/動詞の原形) / seem +to 不定詞 / It seems+that 節 / to 不定詞の否定 / *分詞構文</small> <small>(語句) be inferior to ~ / be aware of ~ / take one's life / occur to ~</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカにおける公民権運動とその歴史を調べ，成果を話し合う。</li> <li>・自分の夢について書き，クラスで発表する。</li> </ul>	

第 1 学 期	7 月	<b>Action! 2 ホテルでの会話</b> (1) <機能・表現> 相づちを打つ / 褒める, 望む / 説明する / 仮定する	・ホテルのフロント係と客として, 観光地への行き方のロールプレイを行う。	第 1 学 期 期 末 考 査
		<b>Reading 1 Chosen</b> (5) <題材> 太平洋戦争中のフィリピン戦線。マラリアに罹った米兵捕虜に身の危険を冒して薬を手に入れてきたのは……。日本兵と米兵捕虜の互いの立場を超えた心の交流を描いた実話を読み, 他人を思いやる気持ちや「正義と責任」とは何かを考える。 <言語材料> (語句) volunteer to do / come down with ~ / every time ~ / on duty / manage to do / pass out / keep an eye on ~ / in any case	・フィリピンの歴史を調べる。 ・「世界史」の学習と関連づける。	
		<b>英語のリズムを作る「強勢」と「弱音」</b> (1)	・実際に発音して慣れるだけでなく, 音源を使ってリスニングにも活用できるようにする。	
<b>【課題・提出物等】</b> 1. 課題: 『ワークブック』の中で指示されている箇所を予習。 2. 提出: Lesson 1~Reading1 までの『ワークブック』, セクションごとのサマリー (50 words 程度) を提出。				
<b>【第1学期の評価方法】</b> 1. 評価対象: 中間考査及び期末考査の成績, 各課の小テスト (指導書セット内の『評価用テスト問題』を活用), スピーキングテスト 2 回 (各課で扱われた話題に関して自分の意見や考えを述べる), 『ワークブック』の記入状況, 授業時間内のペアワークやグループワークへの取り組み状況, 課題提出状況を評価対象とする。 2. 評価配分: 中間考査及び期末考査の成績-50%, 小テスト-15%, スピーキングテスト-15%, 『ワークブック』への記入・ペアワークへの取り組み状況-10%, 課題-10%				

学期	月	学習内容とねらい (配当時数)	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考査範囲
第 2 学 期	9 月	<b>Lesson 5 Broaden Your Horizons</b> (10) <題材> 東西冷戦時代のソ連とアメリカで行われていたホームステイ・プログラムを通じて, お互いの国の文化を理解することの重要性について知る。 <言語材料> (文法) 助動詞+have+過去分詞 / to不定詞の完了形 / S+V (=使役動詞) +O+C (=動詞の原形) / S+V (=使役動詞) +O+C (=過去分詞) (語句) up to ~ / in addition / make friends with ~ / be on ~ terms / thanks to ~ / all in all / in addition to ~ / participate in ~	・自分の家に海外からの留学生が来るとしたら, どんな点に注意してもらうかを考えて, 発表する。	第 2 学 期 中 間 考 査
	10 月	<b>Lesson 6 The Great Sorrow of Guernica</b> (10) <題材> パブロ・ピカソの名画「ゲルニカ」に込められた作者の思いや, 作品が誕生するきっかけとなった社会背景を学ぶ。 <言語材料> (文法) S+V+it+C+that 節 / 過去完了進行形 / 受け身の進行形 / 関係代名詞 whose (語句) can't take one's eyes off ~ / draw ~ into ... / ~ or so / those who ~ / in those days / run about / protest against ~ / a number of ~	・好きな芸術家の作品について調べ, 情報をまとめて発表する。	
		<b>Action! 3 ラジオ放送</b> (1) <機能・表現> 望む / 説明する, 勧める / 命令する	・レストランについてのレポートを聞いて, 条件に合うレストランを選ぶ。	
	11 月	<b>スキニングの方法</b> (1)	・英検などの問題を活用しながら, 身につけたい読解スキルのひとつであることを伝え, 活用できるようにする。	

第 2 学 期	12 月	<b>Lesson 7 Without the Right Brain</b> (10) <題材> 幼い頃に右脳切除の手術を受け、幾多の困難に直面しながらも、優秀な成績で高校を卒業、芸術家として活躍するようになる少女の半生を読み、あきらめないことの大切さを学ぶ。 <言語材料> (文法) 関係代名詞の非制限用法 / 関係副詞の非制限用法 / 強調構文 / 同格の that (語句) grind one's teeth / be unable to do / wrong with ~ / even if ~ / be determined to do / in time / catch up with ~ / be poor at ~ / graduate from ~ / take over	・高校入試やクラブ活動などで経験した困難をどのようにして乗り越えたか、について発表する。	第 2 学 期 末 考 査
		<b>Lesson 8 An Industrial Revolution in the Sky</b> (10) <題材> 日常生活に深くかかわりつつあるドローンの活用事例や、今後の新たな応用と、その利点と問題点を知る。 <言語材料> (文法) 未来進行形 / 未来完了形 / 倒置 (否定語を伴う文) / 倒置 (方向や場所を表す副詞 (句) +V+S) (語句) sometime soon / put together / owing to ~ / come with ~ / What if ~? / be to blame for ~	・ドローンの活用を考え、グループで話し合う。また、活用することの長所や短所について、自分の意見を書く。	
		<b>Action! 4 レストランでの会話</b> (1) <機能・表現> 相づちを打つ / 望む / 申し出る / 依頼する	・レストランで注文する場面を設定し、店員と客になりロールプレイを行う。	
		<b>音の変化と聞き取りのコツ</b> (1)	・実際に発音して定着させるとともに、ディクテーションも行い、実際のリスニングで活用できるように意識づけを行う。	
<b>【課題・提出物等】</b> 1. 課題：『ワークブック』の中で指示されている箇所を予習。 2. 提出：Lesson 5～Lesson 8 までの『ワークブック』、セクションごとのサマリー (50 words 程度) を提出。				
<b>【第2学期の評価方法】</b> 1. 評価対象：中間考査及び期末考査の成績、各課の小テスト (指導書セット内の『評価用テスト問題』を活用)、スピーキングテスト 2 回 (各課で扱われた話題に関して自分の意見や考えを述べる)、『ワークブック』の記入状況、授業時間内のペアワークやグループワークへの取り組み状況、課題提出状況を評価対象とする。 2. 評価配分：中間考査及び期末考査の成績-50%、小テスト-15%、スピーキングテスト-15%、『ワークブック』への記入・ペアワークへの取り組み状況-10%、課題-10%				

学期	月	学習内容とねらい (配当時数)	備考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考査範囲
第 3 学 期	1 月	<b>Lesson 9 Benefits of Laughter</b> (10) <題材> ホスピタルクラウンや「なでしこジャパン」の佐々木監督などの例を通じ、科学的根拠を交えながら「笑い」がもたらす効果について知る。 <言語材料> (文法) 複合関係代名詞 / as if ~ / 仮定法過去完了 / S+V (=be 動詞以外の動詞) +C (=分詞) (語句) inspire ~ to do / stimulate ~ to do / deal with ~ / as usual / so far	・「含み笑い」「薄ら笑い」「作り笑い」「苦笑い」「馬鹿笑い」などがどんな英語の表現になるか、調べて発表する。 ・人を笑わせるとき、どんなことに注意するか、グループでアイデアを出し合い、発表する。	学 年 末 考 査
	2 月	<b>Lesson 10 Living with Microbes</b> (10) <題材> 悪いイメージをもたれがちな「菌」が、さまざまな形で日常生活に役立っている事例から、「菌」の実態について学ぶ。 <言語材料> (文法) 付帯状況の with / 副詞節中の S+V の省略 / 完了形の分詞構文 / 否定の分詞構文 (語句) be made from ~ / go bad / depend on ~ / by accident / as a consequence / as it turned out / provide ~ with ... / catch fire / spare ~ from ... / think better of ~ / due to ~	・漬け物の作り方を英語で発表する。 ・「家庭基礎」、 「家庭総合」あるいは「生物基礎」の学習と関連づける。	

第 3 学 期	3 月	<b>未知語の推測</b> (1) <b>Action! 5 ツアー会社での会話</b> (2) <機能・表現> 相づちを打つ / 褒める, 望む / 説明する / 依頼する <b>Reading 2 The Victory of Belief</b> (7) <題材> ラグビーの名門校である京都の伏見工業高校。ラグビー強豪校になるきっかけとなった, 生徒たちと真正面から向き合った山口義治氏の「熱血」指導をたどる。 <言語材料> (語句) fall in love with ~ / be in (serious) trouble / be going on / without care / by a score of ~ / give up / The rest is history.	・大学の入試問題を活用しながら, 身につけるべき読解スキルのひとつであることを伝え, 英文読解を通じて活用できるようにする。 ・ロンドン発のツアーを例に, ツアーの申込みをする場面を設定し, ツアー会社のスタッフと客のロールプレイを行う。 ・クラブの中でやる気のない人がいたらどうするか, について自分の意見を発表する。	学 年 末 考 査	
	<b>【課題・提出物等】</b> 1. 課題: 『ワークブック』の中で指示されている箇所を予習。 2. 提出: Lesson 9～Reading 2 までの『ワークブック』, セクションごとのサマリー (50 words 程度) を提出。				
	<b>【第3学期の評価方法】</b> 1. 評価対象: 学年末考査の成績, 各課の小テスト (指導書セット内の『評価用テスト問題』を活用), スピーキングテスト 1 回 (各課で扱われた話題に関して自分の意見や考えを述べる), 『ワークブック』の記入状況, 授業時間内のペアワークやグループワークへの取り組み状況, 課題提出状況を評価対象とする。 2. 評価配分: 学年末考査の成績-60%, 小テスト-10%, スピーキングテスト-10%, 『ワークブック』への記入・ペアワークへの取り組み状況-10%, 課題-10%				
<b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 1 学期, 2 学期および 3 学期の成績を総合し, 年間の学習成績とする。					

(注) 言語材料のうち, \*は I 巻での学習事項を表す。

生徒へのアドバイス

<p>確かな学力を身につけるためのアドバイス</p>	<p>英語の学力とは、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりすることができることである。具体的には、英語を聞いたり読んだりして、そこにある情報や考えを理解し、まとめたり要点をとらえたりすることであり、もう一つは、学んだり経験したりしたことに基づき、英語で情報や考えを話し合ったり書いたりすることである。</p> <p>そのためには、英語による情報を聞いたり読んだりして、できるだけ多くの情報を取り入れる時間を作ることが必要であり、また、英語で話したり書いたりして、できるだけ英語を使う機会を増やすことが必要である。具体的には、教科書の本文をまとめたり、自分が感じたことを書いたり話し合ったりする活動が考えられる。</p> <p>そして、この「聞く」「話す」「読む」「書く」という能力を支えるのが文法であり、語彙力である。どちらも単に覚えるだけでなく、実際に使ってみるという視点を忘れてはならない。</p>
<p>授業を受けるに当たってのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループワークでは、積極的に英語を使うようにする。わからないと思って黙ったり、日本語で話したりすることなく、簡単な文構造や語彙を用いて表現することが大切である。</li> <li>・プレゼンテーションやスピーチにおいては、聞き手を意識することが重要である。</li> <li>・日本語に直して理解しようとするのではなく、英語の語順のまま意味をとるように心がける。</li> <li>・辞書を活用し、単語・連語・慣用表現の意味や発音を確認するとともに、例文などを通じて、使い方をしっかり調べる大切である。</li> </ul>

(2) 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点	評価の観点および内容	評価方法
<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション活動に興味や関心を持ち、積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうとしているか。</li> <li>・学んだ表現を積極的に使おうとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループワークへの参加態度を観察</li> <li>・自己評価</li> </ul>
<p>外国語表現の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容について自分の意見や感想を英語で論理的に表現できるか。</li> <li>・聞き手を意識して音読できるか。</li> <li>・発話の際の発音・リズム・イントネーションは適切か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ワークブック』</li> <li>・ペアワークへの参加態度を観察</li> <li>・スピーキングテスト</li> <li>・プレゼンテーションテスト</li> <li>・サマリー、エッセーライティング</li> <li>・音読テスト</li> <li>・定期考査のライティング問題</li> </ul>
<p>外国語理解の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容やその話題に関する英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図を理解したり、概要や要点をとらえることができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ワークブック』</li> <li>・定期考査のリーディングやリスニング問題</li> </ul>
<p>言語や文化についての知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション活動の実践を支える必要な語彙、発音、文法などに関する知識、文化の違いについて理解しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ワークブック』</li> <li>・セクションごとの単語・熟語・表現テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>